

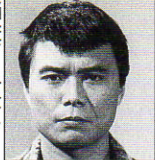
鴨川てんし  
三上 伸行  
俵 千賀  
草野 大悟



藤川 繁木



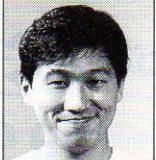
遠藤 節



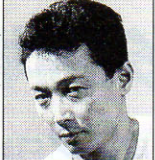
稲葉 政文



斉藤 省司



佐藤 克之



矢野 晴彦



小嶋 章



服部 博之



小沢 俊明



増山 浩一



西山 憲一



大出 友子



矢動丸 純子



伊藤 幸恵



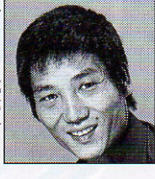
伊藤 明美



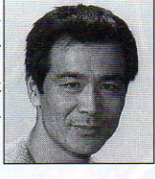
中村 ジョー



根本 和史



岩切 慶暉



入江 杏子



沓名むつみ



岡本 真実



一九四五(昭和二十)年七月二十六日、日本、ポツダム宣言受諾。日本国民は、史上初の異民族支配を受けた。そして、昭和二十年八月十五日、日本、無条件降伏。日本占領。日本は、コーンパイプを口にした碧い眼の大君、マッカーサー元帥の率いる四十万の軍隊によって支配されたのである。占領軍の日本進駐によって旧日本の景観は一変した。それはあたかも、かつての外人町や租界地が全国的に拡大したものであった。カーキ色のGIハット、ジープのアメリカ兵、GHQ、両国の国技館はメモリアル・ホール、東京宝塚劇場はアーニャーパイル。パンパンはストリートガール。復員兵、引揚げ者、戦災孤児。戦争責任者の追求。伊丹万作はこう指摘した。「欺されること自体一つの悪である。欺されるということは、知識の不足からくるものが、半分は信念、すなわち意志の薄弱からくるものである。」ここに、闇市愚連隊は成立する。

岡部耕大書き下ろし「闇市愚連隊」。日本の安全は、平和を愛する諸国民の公正と信義に委ね、近き将来国連に加盟することによって、日本の自衛権は国連の集団自衛権に依存する。カストリ、エログロナンセンス。そして、レッドパージ。下山事件・三鷹事件・松川事件・時は移る。いやだといつても時は移る。昭和二十三年、十一月十二日、極東国際軍事裁判はじまり、東条英機ほか七名に絞首刑執行。だれがだれを、なにをもつてどう裁くか!! その頃、軍港、九州佐世保では……。

復員兵 「ひとりひとりが、わがの才覚で食糧は求めんばじゃろが、のう。そんなためにや、食管法の網の目ばくぐらにやならん。闇ばやらにやならん……。法ば侵さんばならん。のう、警官の取り締りに対抗するにや、組織、こりがいる」。

このひとことで、奇妙な共和国が誕生した。その共和国のなまえを「肥前松浦東亜王国」といった。肥前松浦東亜王国・人皇第一代の皇帝、名を天忍鉾建天駆松浦養治命。第一代皇帝、松浦養治、元陸軍パイロット、皇帝は名門の出である。

勸三 「ええ、ごめんくださいりませつ。おごめんでござす。肥前松浦東亜王国でござすしょうか」  
走りの勸三。彼は、十三・四歳で「十人史略」「日本外史」を返り点なしで読んだ。

勸三 「皇帝を頭にいただき、二十八人衆を集め、組織的なかつぎ屋集団が結成された。そうでござすしょうが、えっ」  
復員兵 「あなた、どつからの復員な」  
勸三 「……。地獄からの、復員でござす」

彼らは、八月十五日を境に突如降って湧いたデモクラシーに有頂天にはなれなかった。その心理的背景には、彼らが育った家庭環境と、戦中、戦後に生息を余儀なくされた場所が投影していた。  
学徒 「……。俺たちや、犯罪人じゃろか、ゆがめられた想い出は最後に不具視されつつ消えてゆかんばならんとじゃろか。またもし、俺たちに戦争協力の罪ば問うとなら、その前に文部省自身つ、学徒報国隊などの数々の大罪ば償うべきじゃなかとじゃろか」

闇市においては、国籍、階級、身分、出身、学歴は一切問われなかった。華族も、ヤクザも、軍人も、被差別窮民も同格であり、路上に一枚のゴザをして、貧しい品物を売るところから出発した。敵は、GHQ、戦後民主主義ニッポン!!

復員兵 「よかかつ、王国はもともと存在しなかつた。存在しなかつたものは、故に変貌しない。変貌しないものは、故に消滅しない。……だから、王国は同窓会を開かない……ゆけえ諸君つ、武運長久を祈るつ」。

待望久し、岡部耕大懐かしの総天然色カラーシネマスコープ・オールスターキャスト作品。秋、九月二十二日から下北沢本多劇場に嵐吹く。